

青少年の体験活動の意義と実際

北翔大学 青木 康太朗

本講義のねらい

青少年の体験活動の現状や必要性、教育的意義について理解を深め、体験活動の企画や指導のポイントを学ぶことで、今後の教育活動に役立ててもらおう。

- (演習) 1. コミュニケーションゲームを体験しよう
- (1) アイスブレイキング (全体)
 - (2) イニシアティブゲーム (9人×7班)
 - (3) 体験活動の効果を考える
- (講義) 2. なぜ体験活動は必要なのか？
- (1) 体験活動とは
 - (2) 子どもの学びの過程
 - (3) 体験活動の教育的意義
 - (4) 直接体験にあつて間接体験にないもの
3. 今の子どもたちの体験は増えている？減っている？
- (1) 体験活動の現状と推移
 - (2) 青少年の体験不足はいつから始まったのか
 - (3) いつどのような体験をすればいいのか
4. 多様な体験活動を提供する青少年教育施設
- (1) 青少年教育施設の役割
 - (2) 青少年教育施設の現状と課題
 - (3) 青少年教育施設職員に必要な3つの能力
5. 体験活動の企画や指導のポイント
- (1) プログラムの企画とは？
 - (2) プログラムを立てる手順 (考え方)
 - (3) 体験学習法とふりかえり
 - (4) 活動のねらいに応じた指導のあり方

[主な参考文献]

- ・「クラス全員がひとつになる学級ゲーム&アクティビティ 100」
- ・「青少年の体験活動等と自立に関する実態調査」報告書 (平成 22、24 年度調査)
- ・「子どもの体験活動の実態に関する調査研究」報告書
- ・「学校で自然体験をすすめるために 自然体験活動指導者養成講習会テキスト」
- ・「体験活動事例集—豊かな体験活動の推進のために—」
- ・「平成 24 年度全国学力・学習状況調査」